

2024年
4-9月期

県内景況・確報

◎概況 **県内景況は、回復している。**

●2024年4-9月期 おきぎん「カトレア」景況図●

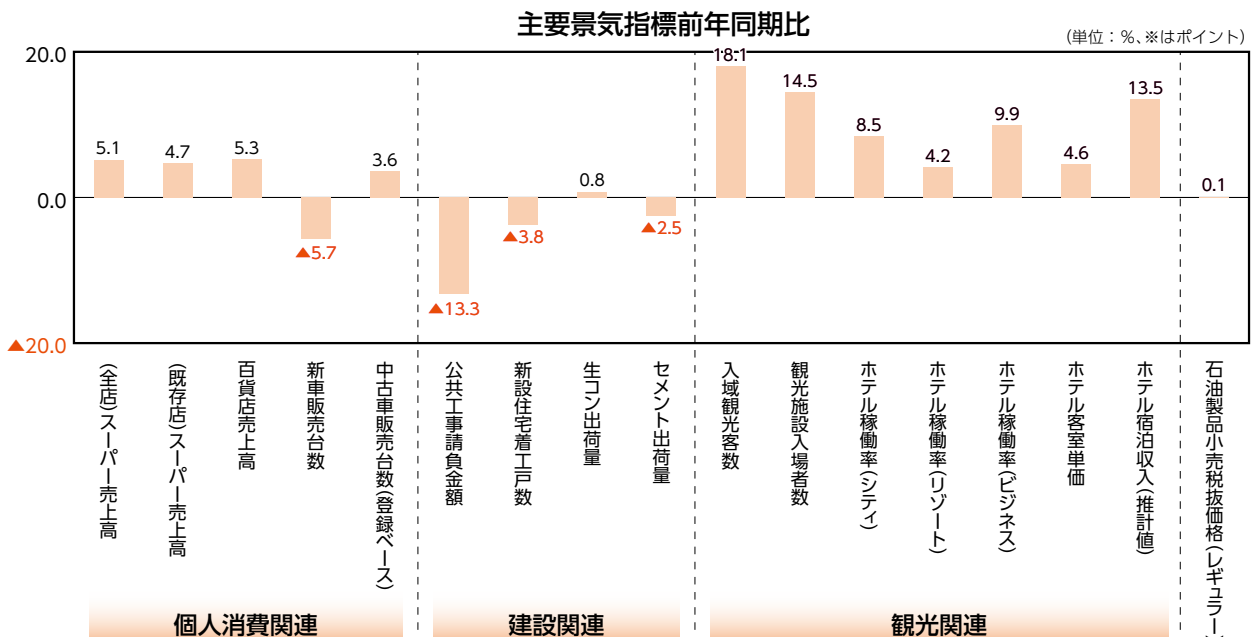


2024年4-9月期の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回りました。百貨店売上高は前年同期を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同期を下回り、中古車販売台数は、前年同期を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同期を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を下回りました。建設資材である生コンは前年同期を上回り、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は、前年同期を上回りました。観光施設入場者数は、前年同期を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同期を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）は前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設関連は、このところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、**「県内景況は、回復している」**と景気判断をしました。





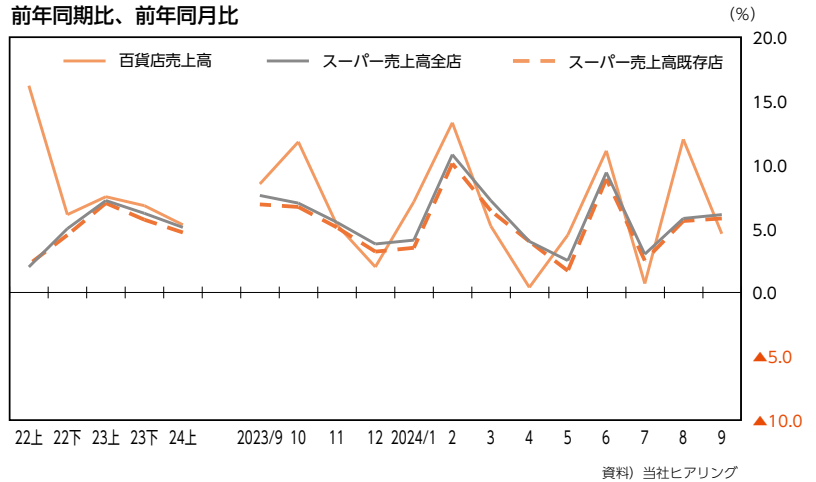
個人消費



(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

2024年4-9月期の個人消費関連は、**スーパー売上高「全店ベース（前年同期比5.1%増）」**は、前年同期を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同4.1%増）」は、物価高騰などにより、前年同期を上回りました。「衣料品（同7.9%増）」や、家電を含む「家庭用品（同10.3%増）」は、来客数の増加などにより、前年同期を上回りました。



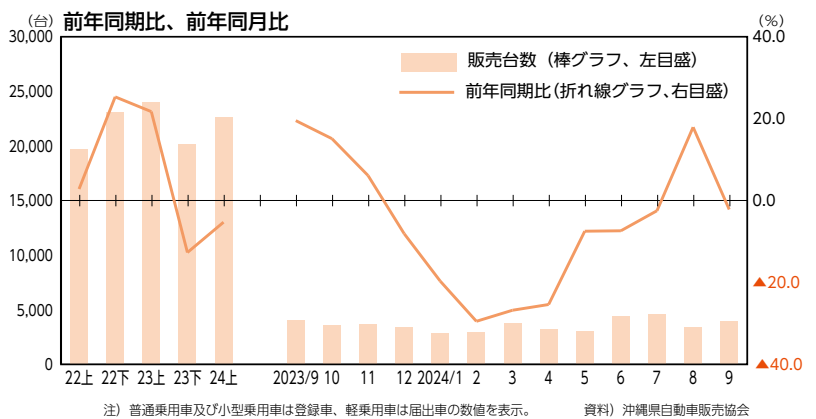
「既存店ベース（同4.7%増）」は、前年同期を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同5.7%増）」は、物価高騰の影響などにより、前年同期を上回りました。「衣料品（同8.3%増）」、「家庭用品（同8.3%増）」は、来客数が増加したことなどから前年同期を上回りました。

百貨店売上高は、インバウンド含む観光客数の回復に伴う来店客数の増加などにより前年同期を上回りました（同5.3%増）。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品（同5.0%増）」は、来客数の増加などにより売上が伸び前年同期を上回りました。「食料品（同9.3%増）」は、催事企画の好調などにより前年同期を上回りました。「雑貨（同10.7%増）」は、インバウンド含む観光客からの売り上げ好調などにより前年同期を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同期を下回る。

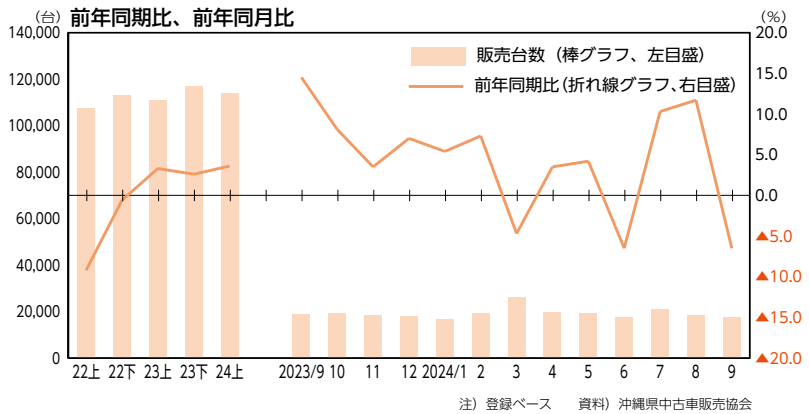
新車販売台数は、全体で22,602台（同5.7%減）となり、前年同期を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同9.8%減）」、「小型乗用車（同6.9%減）」、「軽乗用車（同5.8%増）」は、一部メーカーの出荷停止による影響などにより、前年同期を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



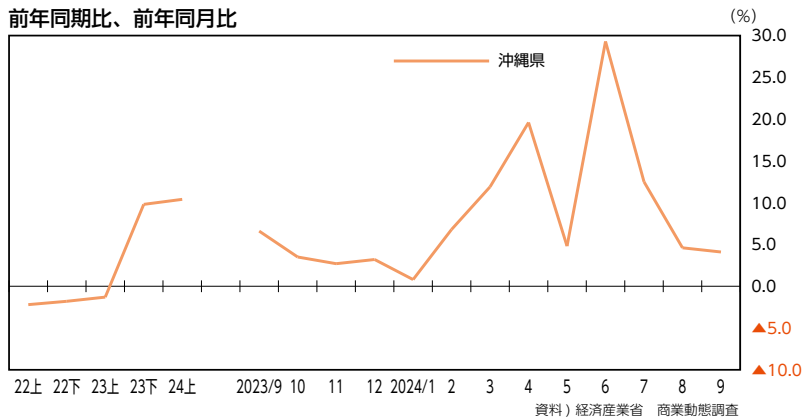
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は、前年同期を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で113,893台（同3.6%増）となり、前年同期を上回りました。車種別では、「乗用車（同6.8%増）」、「軽自動車（同1.6%増）」共に前年同期を上回りました。



④ 大型家電専門店販売額…大型家電専門店販売額は、前年同期を上回る。

大型家電専門店販売額は前年同期を上回りました。

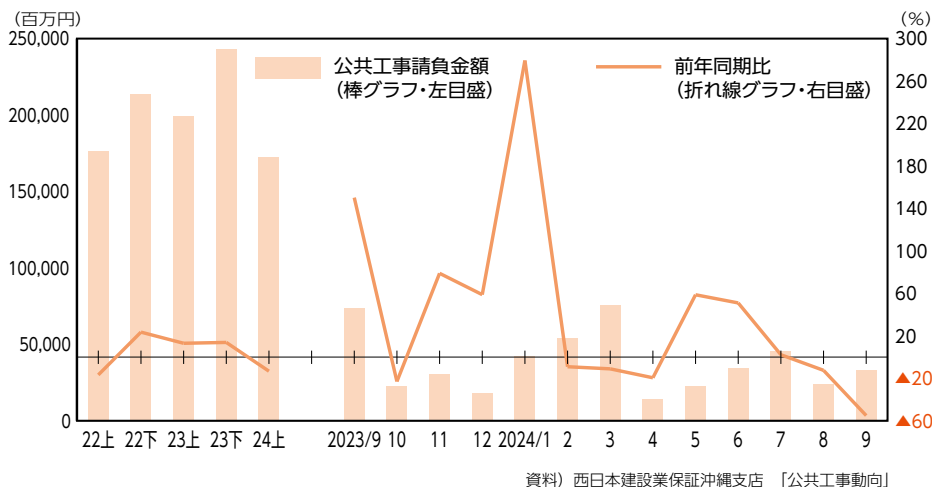


建設関連



(ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を下回る。

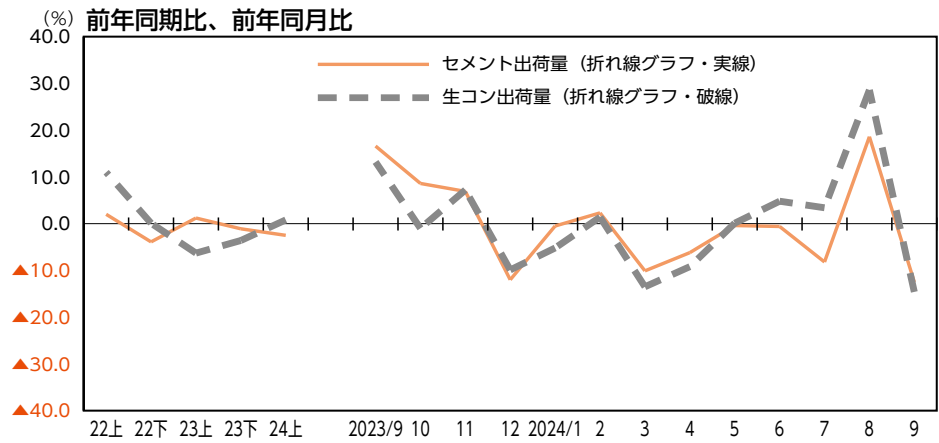


2024年4-9月期の公共工事請負金額は、前年同期比13.3%減の1,726億2,900万円となりました。発注者別でみると、「国（同45.2%減）」、「独立行政法人等（同40.3%減）」は前年同期を下回りました。一方、「市町村（同16.3%増）」、「その他の公共的団体（同98.8%増）」、「沖縄県（同3.3%増）」は前年同期を上回りました。



② 建設資材…生コンは前年同期を上回り、セメントは下回る。

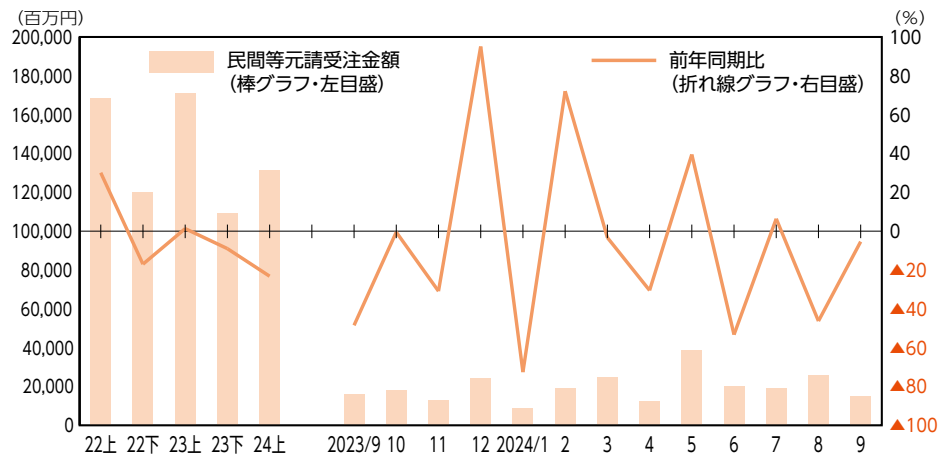
建設資材関連では、生コンの出荷量は0.8%増と前年同期を上回りました。内訳では、民間工事向けは前年同期より2.2%上回り、一方、公共工事向けは2.1%下回りました。セメント出荷量は2.5%減と前年同期を下回りました。



資料) 当社ヒヤリング等による

③ 【参考】民間等元請受注…民間等からの元請受注高は前年同期を下回る。

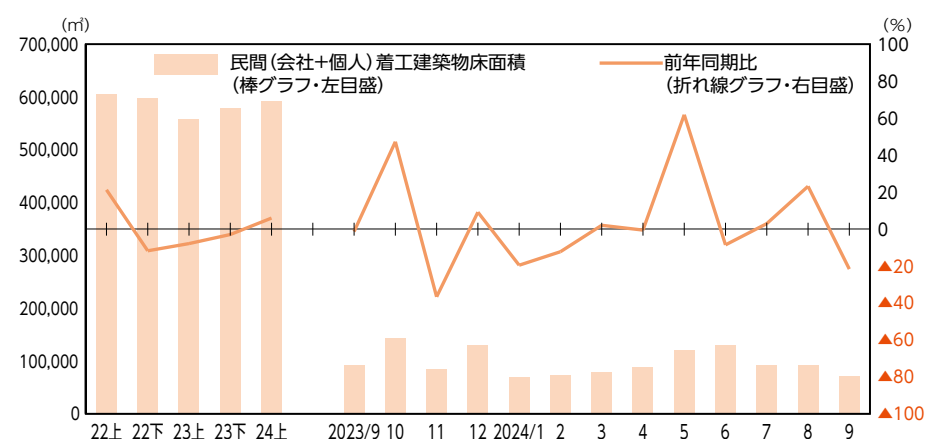
2024年4-9月期の民間等からの元請受注高は、23.2%減と前年度同期を下回りました。



資料) 国土交通省「建設工事受注動態統計調査」業者所在都道府県別受注高 (沖縄県)

④ 【参考】民間着工建築物床面積…民間(会社+個人)着工建築物の床面積は前年同期を上回る

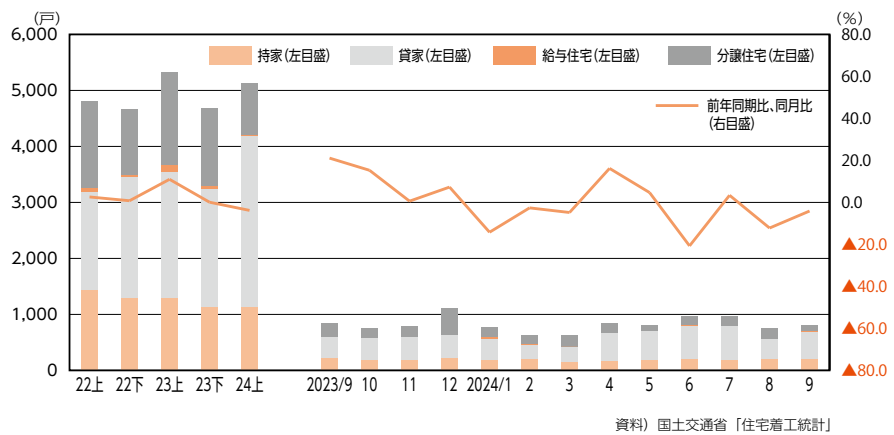
2024年4-9月期の民間(会社+個人)着工建築物の床面積は、5.9%増と前年度同期を上回りました。



資料) 国土交通省「建築物着工統計 建築主別 床面積 (沖縄県)」

⑤ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を下回る。

新設住宅着工戸数は、全体で5,127戸となり3.8%減と前年同期を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同44.7%減)」、「持家(同11.8%減)」、「給与住宅(同74.8%減)」は前年同期を下回りました。一方、「貸家(同34.4%増)」は前年同期を上回りました。



観光関連

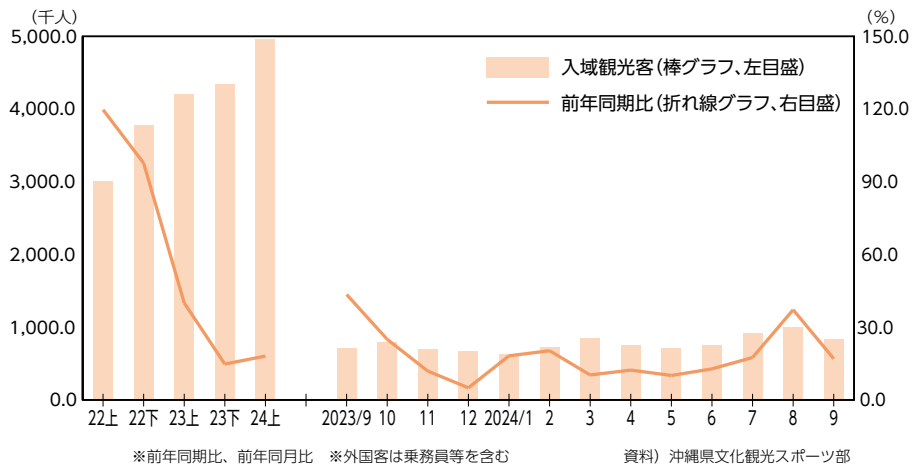


(やや良い)

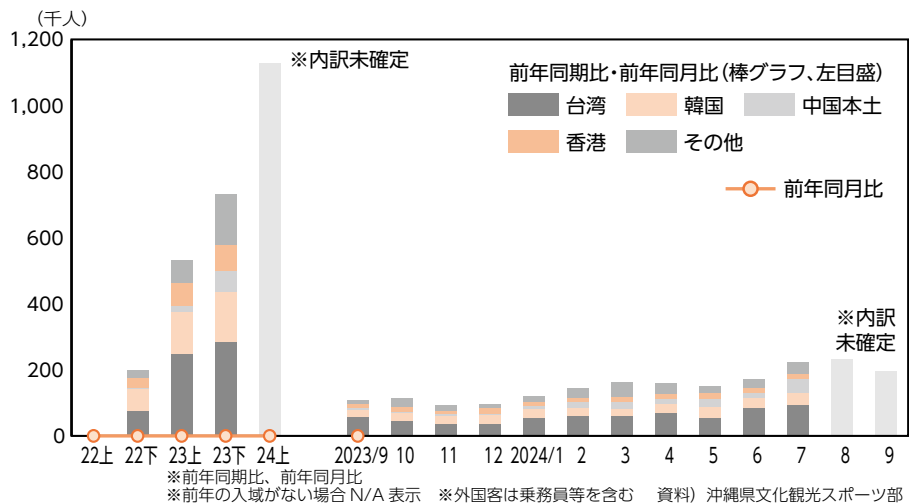
① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を上回る。

2024年4-9月期の入域観光客数は495万7,100人となり、前年同期を上回りました(18.1%増)。団体客の回復や外国人観光客の増加などから、前年同期を上回りました。

外国客は今後も外国客数の緩やかな回復が見込まれています。海路では、台湾からの海外クルーズが好調に推移し、中国においても回復しています。



外国客 入域観光客数…前年同期を上回る。

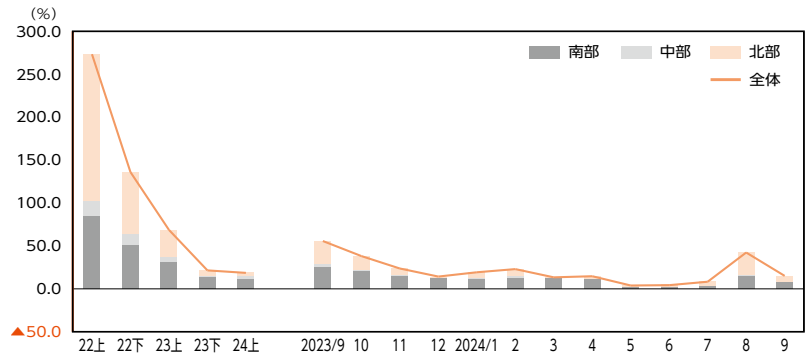




② 観光施設入場者数…前年同期を上回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同期より14.5%増加しました。地域別に見ると、南部にある観光施設は同17.4%増、北部は同14.4%増、中部は同1.6%増となりました。

(参考)2019年同期比では、全体で38.9%の減少となりました。内訳では南部の観光施設は33.7%の減少、北部は23.5%の減少、中部は48.6%の減少となっています。



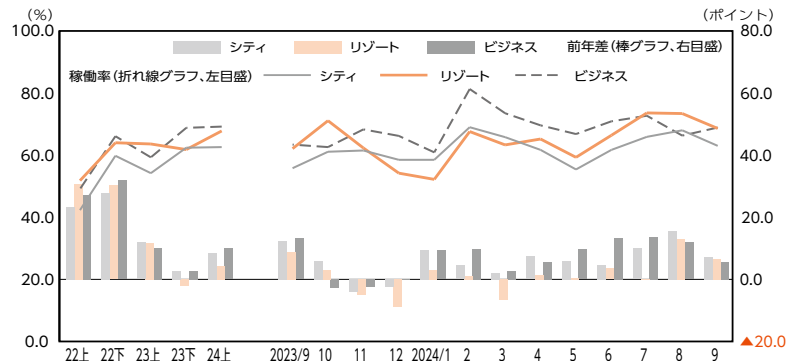
*調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設
グラフは全体の寄与度を表示。

資料) 当社ヒアリング

③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同期を上回る。

2024年4-9月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが62.6%と前年同期差8.5ポイント上昇、リゾートホテルが67.8%と同4.2ポイント上昇、ビジネスホテルは69.2%と同9.9ポイント上昇しました。

(参考)2019年同期比では、シティホテルは15.1ポイントの減少、リゾートホテルは11.3ポイントの減少、ビジネスホテルは6.7ポイントの減少となっています。



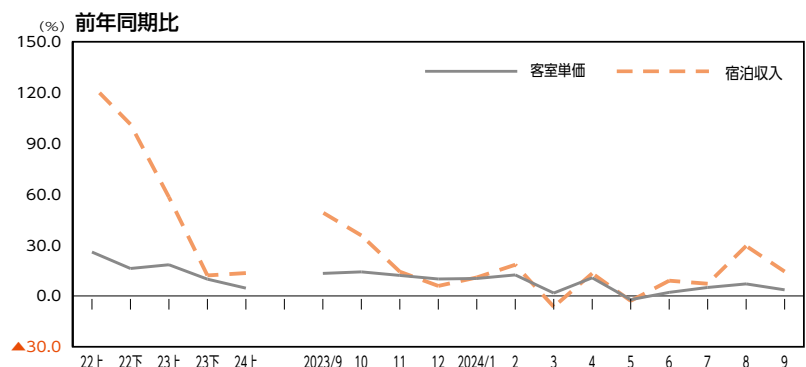
注)シティホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル
*公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。

資料) 当社ヒアリング

④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価、宿泊収入ともに前年同期を上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート)は前年同期比4.6%増と前年同期を上回りました。**宿泊収入**も同13.5%増と前年同期を上回りました。

(参考)2019年同期比では、客室単価は20.8%の増加、宿泊収入は9.2%減少となっています。



*対象施設数:22施設(シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く
*客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
*公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。

資料) 当社ヒアリング



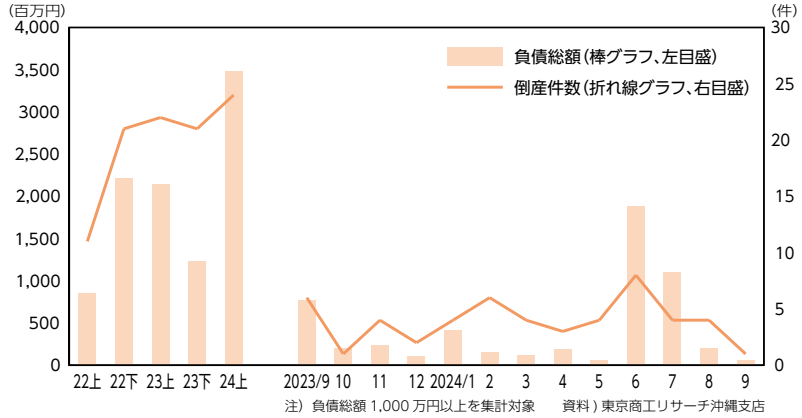
企業倒産



(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同期を上回る。

2024年4-9月期の企業倒産件数は、24件（うち負債総額1億円以上10億円未満の大口倒産は7件）となり、前年同期より9.1%上回りました。**負債総額**は34億7,800万円となり、前年同期より62.1%上回りました。



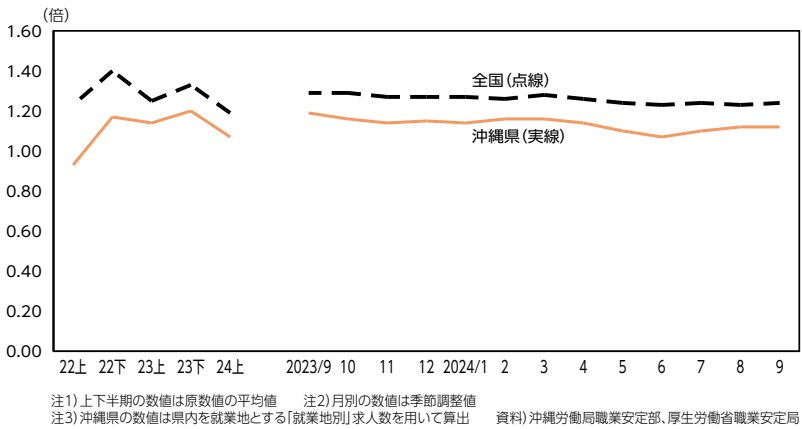
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前年同期より低下。

2024年4-9月期の雇用状況は、有効求人数(原数値平均)は前年同期比4.7%減の31,344人に対して、有効求職者数(同上)は前年同期比1.4%増の29,329人となり、**有効求人倍率(同上)**は1.07倍と、前年同期より0.07ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄、全国はともに前年同期より低下。

完全失業率(原数値平均)は、3.3%となり前年同期より0.2ポイント低下しました。

